

ねろる

人口のうごき

(5月1日現在)	(4月中)
人口・33,200	出生・33
男・15,948	死亡・30
女・17,252	転入・131
世帯・6,643	転出・202

米生産 本市の減反156ターヘルク

目標面積の46.5パーセント

県から示された三百三十六分の減反を目ざして、生産調整に取り組んでいる市農政課に、四月三十日現在とまとまった本市の転作や休耕の申し出数は、百五十六・三割、七百七十三戸となりました。

この減反数は、目標の三百三十六分に対する四六・五割に当たります。

この生産調整は、三月定例市議会で、吉沢市長が施政方針の説明の中で「不満ではあるが食糧管理制度の根幹を守り、かつ市民の生産調整対策に係る奨励措置の受給権を確保するため」と述べているように、基本的には反対であるが当面する農業情勢の中ではやむを得ないものとして、本市でも各農家に減反の

目標面積が示されたわけです。その結果、申し出期限の四月三十日現在で市の農政課に提出された減反面積は、別表のとおり三百三十六分の目標面積に対して、百五十六・三割(四六・五割)となっており、減反を希望する農家も総農家数の二五・四割に当たる七百七十三戸が申し出ています。

また、この実施面積を転作と休耕に分けてみると、転作は全体の約三〇割に当たる四十六・八割で、休耕は約七〇割に当たる百八・三割となっています。

一方、これらの数字を各地

米生産調整実施状況 (4月30日現在)

地区名	目標		実施		実施率		内訳
	面積	戸数	面積	戸数	面積%	戸数%	
新飯田	9.4	7.1	7.5	53	79.8	75.0	0.1
瀬井	55.9	29.2	52.2	127	93.1	49.0	0.2
白鷲	43.0	15.2	35.3	80	82.1	21.9	0.3
大鷲	32.5	26.3	80.9	121	249.0	10.1	0.2
根白	42.6	19.9	46.7	117	109.3	19.6	0.2
根白	50.3	28.6	56.9	98	113.1	15.7	0.1
根白	26.7	4.0	15.0	35	56.2	10.6	0.1
根白	46.7	10.3	22.1	67	47.3	3.3	0.1
根白	28.9	15.7	54.3	75	188.2	7.4	0.1
合計	336.0	156.3	46.5	773	13.8	46.8	1.2

区別に見てみると、目標面積に対する実施面積の割合の高い方では、大郷地区の八〇・九割(二十六・三割)をトップに、続いて新飯田地区の七五・五割(七・一割)、根岸地区の五六・九割(二・八割)、英曾根地区五四・三割(一五・七割)、庄瀬地区五二・二割(二・九割)などとなっています。

また、減反を実施する各地区的別農家数では、庄瀬地区の百二十七戸を筆頭に、大郷地区百二十七戸、根岸地区九十八戸などが多い方ですが、期限を過ぎた今でもほつぽつ減反希望の申し出があり、市は最終的に十二、三日頃までの申し出数を、市の実施面積として県へ報告、生産調整奨励措置の対象とする考え

市政モニターが決まりました

皆さんの意見も投書箱へ

今年度の市政モニターに選ばれた、市民の声を市政に反映させてくださることにになりました。

知野 野野木 新飯田、木村 清志、上田、大塚 松葉、引越 佐久間 安治、魚町、小柴 雄一、戸石、小林 江津美、新飯田、玉木 先次郎、高井 興野、和田 栄七郎、保坂、玉木 賢二、旭町、小林 三千夫、新飯田、坂井 一郎、庄瀬、中村 光一、中山、鈴木 千枝、五ノ町、長谷川 松平、一ノ町、風間 嘉津治、能登、丸山 作司、東笠 巻新田、沢川 菊枝、下大郷、東笠 巻、山崎 喜代、西笠 巻新田。

各団体等の意見を集約してお聞かせいただくことになりましたが、昨年度のモニター会議の席上要望のありました投書箱「私も一言」を、今年度から新しく各モニター宅を中心とした、目の付きやすいところに設置することにしました。

皆さんも建設的な意見をどしどしお寄せください。

六月一日に商業調査

来る六月一日現在で全国通網の整備、急速な都市化の御し、小売り商店や、飲食店をもれなく対象とする商業統計調査が行なわれます。

例年であれば七月一日が実施日になっているこの調査も、ことは十月一日現在で国勢調査が実施されるため、一か月繰り上げて行なわれるものです。

この調査は、わが国の商業の販売活動の実態や、商品の全国的な流通状態を明らかにするために実施される、商業についての国勢調査ともいえるべきものです。

最近人手不足や道路交

通網の整備、急速な都市化の御し、小売り商店や、飲食店をもれなく対象とする商業統計調査が行なわれます。

例年であれば七月一日が実施日になっているこの調査も、ことは十月一日現在で国勢調査が実施されるため、一か月繰り上げて行なわれるものです。

この調査は、わが国の商業の販売活動の実態や、商品の全国的な流通状態を明らかにするために実施される、商業についての国勢調査ともいえるべきものです。

最近人手不足や道路交

この市政モニターに選ばれた、市民の声を市政に反映させてくださることにになりました。

知野 野野木 新飯田、木村 清志、上田、大塚 松葉、引越 佐久間 安治、魚町、小柴 雄一、戸石、小林 江津美、新飯田、玉木 先次郎、高井 興野、和田 栄七郎、保坂、玉木 賢二、旭町、小林 三千夫、新飯田、坂井 一郎、庄瀬、中村 光一、中山、鈴木 千枝、五ノ町、長谷川 松平、一ノ町、風間 嘉津治、能登、丸山 作司、東笠 巻新田、沢川 菊枝、下大郷、東笠 巻、山崎 喜代、西笠 巻新田。

22日に無料行政相談所

次の要領で今年度初めての「無料行政相談所」が開かれます。相談された内容が他に漏れるような事は絶対にありませんので、次のような問題でお困りの方は、気軽にお出かけください。

1. とき 五月二十二日午後一時から四時まで。
2. ところ 産業厚生会館4階松竹の間。

3. 相談の内容 公害、衛生、税金、道路、生活保護、登記など、国、県、市に対する行政上の不満や要望。
4. 相談を受ける人 市行政相談員の関根 吉さん。

なお、今回は新潟行政監察局から専門の係員も見えられ予定です。

白根郵便局で中学生が一日局員

四月二十三日、白根郵便局では郵政業務を理解してもらい、これまでに協力してもらった中学生六人(白根中学校二井塚和弘君、和田栄さん、白井中学校二井板井とも子さん、本田信子さん、味方中学校二井川正之君、富沢幸江さん)を迎えて一日郵便局員の行事が行なわれました。

この日は郵政省が行なったポスト愛護週間最終日にあたり、全国的にこのような行事が行なわれたもので、白根郵便局では午前九時三十分、それぞれ局長から一日局員の任命を受けた生徒たちが、庁内を回りながら郵便業務や貯金業務、保険業務などの説明を聞き、熱心に質問をしていました。

また、昼食の食卓を囲んでの座談会では「もっと単純なしごとかと思っていたが、想像以上に複雑なので驚きました」と感想を述べ、始めて見る郵便局のしごとに理解を深めていました。

写真は熱心に業務の説明を聞く一日局員の生徒たち



国勢調査のポスター・標語を募集

総理府統計局はことし十月一日に行なわれる国勢調査の広報のため、ポスターと標語を募集しています。

ポスター応募要領

- 用紙は、A二判かB二判を使用。
- 色彩は自由。
- ポスター面にはセロハンカバーをつけないこと。
- 原図には「国勢調査」「昭和四十五年」「十月一日」「総理府統計局」の文字を必ず入れること。
- 応募者の住所、氏名を裏面に必ず記入すること(小・中学生の場合は学校名、学年も記入する)。
- 締め切りは五月二十五日(当日の消印有効)。
- 賞金および賞品
- 一般の部、特選一名十五万円、入選一名五万円、入選二席三名二万円。
- 中学校の部、特選一名カセットレコーダー、入選一名三万円、入選二席三名一万円、入選二席十名漢和辞典。
- 小学生の部、特選一名天体望遠鏡、入選一名三万円、入選二席三名地球儀、入選二席十名工芸セット。
- 標語応募要領
- 官製はがきを用い、一枚に一点のみ記入すること。
- 文字は楷書ではっきり書くこと。
- 応募者は住所、氏名を必ず記入すること(小・中学生の場合は学校名、学年も記入する)。
- 締め切りは五月二十五日(当日の消印有効)。
- 賞金
- 入選十名各三千元(ただし同一作品多数の場合は抽せんによる)。
- 作品の送付先、郵便番号一六二、東京都牛込区区内、総理府統計局。

子どもを水の事故から守ろう

春先は毎年のように幼児の水死事故が増加しています。その原因を調べてみると、ほとんどは子どもが「ちょっと、目を離したすきに起きています。」

農繁期はお互いにお手も借りたいほど忙しいため、子どもはたいてい老人に決まっているようですが、これも留守番や炊事までもしなければならぬところから、つい目を離してしま

まうこととなります。この点をもう一度家族全員で話し合ってみてはいかがでしょうか。おとなから見れば予想もできないわずかなところでも、幼児にとっては命取りになるところが案外たくさんあります。たとえば庭池、ため池、下水路などのほか、家の中の浴そうも危険か所のひとつです。もう一度これらを点検して、幼児の水死事故をゼロにしたいものです。

